

2019年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	日本史B	学年	3
				コース等	AB文系
	使用教科書		『詳説日本史 改訂版』 山川出版社	履修単位数	6
学習目標	<p>・グローバル化が進んでいく中で、我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。</p>			評価の観点	<p>定期試験の結果、出席状況・提出物・小テストを中心に、授業態度や発問に対する解答などを踏まえて総合的に判断する。</p>
授 業 計 画					
月	単元・教材	学 習 内 容			
4	第8章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革 3 幕府の衰退と近代への道	<ul style="list-style-type: none"> ・三大改革と田沼意次の政治について、相違点と細部を理解する。 ・近代における欧米列強の動きを大局的に理解する。 ・幕府、朝廷、大名の動きをそれぞれ理解し、特徴や変遷を把握する。 ・公武合体、尊王攘夷、倒幕といった思想の内容と変遷を考察する。 ・江戸時代末期の文化の特徴を理解する。 			
5	第9章 近代国家の成立 1 開国と幕末の動乱				
《第1回定期試験》					
6	2 明治維新と富国強兵 3 立憲国家の成立と日清戦争	<ul style="list-style-type: none"> ・戊辰戦争の経緯と過程を理解する。 ・明治時代の政治体制と、諸制度を含めて理解する。 ・内閣制度以前の政治体制と、政権担当者を理解する。 ・自由民権運動の動きと、明治政府の対応政策を比較、考察する。 ・条約改正や対外戦争など、日本と外国の外交の動きを理解する。 ・殖産興業などの商工業の発達と、それによる問題を深く学ぶ。 			
7	4 日露戦争と国際関係 5 近代産業の発展				
《第2回定期試験》					
9	第10章 二つの世界大戦とアジア 1 第一次世界大戦と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦下の日本について学び、その過程と影響を探る。 ・平和協調の国際社会における日本の動きを理解するとともに、その時代の国内政治にも目を向け、理解に努める。 ・日本が戦争へ突入する背景と、それに伴う政策や事件を大局的に理解する。 ・第二次世界大戦と太平洋戦争に突入する日本の動きと、その時代の国民の生活について学ぶ。 ・日本の戦争における他国への振る舞いと影響を、敗戦と関連付けながら考察するとともに、現在の日本と周辺諸国の関係を、改めて考察してみる。 			
10	2 ワシントン体制 4 恐慌の時代				
11	5 軍部の台頭 6 第二次世界大戦				
《第3回定期試験》					
12	第11章 占領下の日本 1 占領と改革 2 冷戦の開始と講話	<ul style="list-style-type: none"> ・終戦直後のGHQによる政策と、その転換について理解する。 ・終戦から連戦の勃発までの国際情勢に目を向け、その背景と過程を探る。 ・日本国憲法の成立や政党政治の復活など、現代日本の政治体制につながる事柄を理解する。 ・高度経済成長、安定成長、バブル経済、平成不況という、日本経済の歩みを学び、現在の経済状況と比較し、考察を試みる。 ・これまでの日本史の授業で学んだ内容を振り返り、改めて日本という国について、様々な視点から考察する。 			
	第12章 高度経済成長の時代 1 55年体制 2 経済復興から高度成長へ				
1	第13章 激動する世界と日本 1 経済大国への道 2 冷戦の終結と日本社会の変容				
《第3回定期試験》					
副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・『最新日本史図表 初訂版』 第一学習社 ・『日本史B 詳説日本史 改訂版 10分間テスト』 山川出版社 				

2019年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	世界史B	学年	3
				コース	AB文系
	使用教科書		『世界史B』 東京書籍	履修単位数	6
学習目標	世界の歴史を通じて他国の伝統や文化を学ぶことで、昨今進展著しい国際化社会への対応を図る。それと共に、その意義についての考察を行い理解を深める。			評価観点	定期試験の素点を軸に、小テストや提出物の成果、授業での積極的な参加、授業外での世界史に対する取り組み方などを総合的に評価する。
授業計画					
月	単元・教材	学習内容			
4	第2編 広域世界の形成と交流 第10章 東アジア世界の変容とモンゴル帝国	<ul style="list-style-type: none"> ・五代十国時代から宋代を経て、モンゴル帝国(元朝)の時代に至るまでの東アジア情勢について把握する。 ・上記の政治的推移を軸としながら、時代ごとの社会や産業、経済などを理解することで知識の充足を目指す。 			
5	第11章 海域世界の発展と東南アジア				
《第1回定期試験》					
6	第3編 一体化する世界 第12章 大交易時代	<ul style="list-style-type: none"> ・大交易(航海)時代という時代の潮流の中で、東方の東アジア世界、西方のヨーロッパ世界、そしてそれらを結ぶインドやアメリカ大陸の情勢について理解する。 ・大交易時代における各国の動きを軸に、各地での経済的展開を理解することで、知識の拡充を目指す。 ・西アジア(オスマン帝国)から南アジア(ムガル帝国)を経て東アジア(明、清帝国)といったユーラシア諸帝国の動向をそれぞれタテの流れで理解する。 ・それぞれの地域の帝国同士の、ヨコの関係について把握する。 ・宗教改革や西ヨーロッパ諸国の台頭と繁栄を軸に、近世の欧州史を把握する。 ・それらを背景として形成された、現在にも繋がる様々な考え、体制について理解を深める。 			
7	第13章 ユーラシア諸帝国の繁栄 第14章 近世のヨーロッパ				
《第2回定期試験》					
9	第15章 欧米における工業化と国民国家の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・英仏を中心とした植民地争奪戦から、イギリスの産業革命、フランス革命、アメリカ独立戦争、ナポレオンの躍動という世界史の転換点について学習する。 ・併せて当時の社会の矛盾点をおさえ、以降の学習の足がかりとする。 			
10	第4編 地球世界の形成と課題				
11	第16章 産業資本主義の発展と帝国主義	<ul style="list-style-type: none"> ・19世紀における各国の帝国主義の情勢を中心に、変容する社会情勢、植民地の情勢などを理解する。 			
《第3回定期試験》					
12	第17章 アジア諸地域の変革運動	<ul style="list-style-type: none"> ・列強の干渉、侵入を背景としたアジア諸地域の変革運動を、地域ごとに学習する。 ・特に明治維新以降急速に近代化し、日露戦争を経てアジア諸国の中でいち早く列強入りを果たした日本について理解することで「世界史の中の日本史」を知り学習目標の達成を目指す。 ・第一次世界大戦の惨状、戦後国際秩序(ヴェルサイユ体制、ワシントン体制)の矛盾という戦間期をおさえ、その後の第二次世界大戦への流れを理解する。 ・第二次世界大戦から戦後秩序の形成、その末に始まる事となる冷戦体制の形成といった現代史の推移を把握する。 ・冷戦の展開と植民地の独立、各国情勢などを学習し、現在の国際情勢へと繋げる。 			
1	第18章 世界戦争の時代				
2	第19章 戦後世界秩序の形成				
2	第20章 情報革命と世界経済の本一化				
3					
副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・『グローバルワイド 最新世界史図表』 第一学習社 ・『要点マスター整理ノート 世界史B』 東京書籍 				

2019年度 シラバス

教科	公民	科目	政治経済	学年	3
				コース等	AB文系
	使用教科書		『高等学校 改訂版 政治・経済』 第一学習社	履修単位数	4
学習目標	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深め、現代の政治、経済、国際関係等を客観的に理解する。 現代の政治・経済・国際関係に関する諸問題について主体的に考察し、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。			評価観点	定期試験を軸に、授業への意欲的な参加や、関心の高さ、授業態度、社会に対する関心などを、総合的に評価する。
授 業 計 画					
月	単元・教材	学 習 内 容			
4	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則と日本国憲法 ①政治と法の機能 ②人権保障と法の支配	<ul style="list-style-type: none"> ・政治を学ぶ上で基本的な内容を学習する。 ・人権保障がどのように確立されたのかを歴史的背景を踏まえ、考察する。 ・人権の国際的保障がどのような状況かについて学習する。 ・各国の政治体制を比較し、ニュースで取り上げられている内容を踏まえながら学習する。 ・日本国憲法の成立までの経緯を歴史的背景を踏まえながら学習し、国民民主権・平和主義・基本的人権の尊重のそれぞれの意義について学習する。 ・平和主義を掲げる日本の防衛政策について、歴史的背景を踏まえ学習する。 ・自衛隊や沖縄について学習する際は、時事を絡めて現在はどういう状況かについて考察する。 			
5	③議会制民主主義と世界の政治体制 ④日本国憲法の基本原則 ⑤平和主義と自衛隊 《第1回定期試験》				
6	⑥基本的人権の保障と新しい人権 ⑦国会の組織と立法 ⑧内閣の機構と行政				
7	⑨裁判所の機能と司法制度 ⑩地方自治制度と住民の権利 《第2回定期試験》				
7	⑪政党政治と選挙制度 ⑫民主政治における世論の役割				
9	第2章 現代の国際政治と日本 ①国際社会と国際法 ②国際連合の組織と役割 ③国際政治の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会の特質と国内社会との違いについて考察する。 ・国際連合が成立するまでの経緯を学習し、各機関がどのような役割を担っているのかを考察する。 ・冷戦の意義についてと今日の国際社会では、どのような問題が発生しているのかを時事問題を踏まえ学習する。 ・これまで起きた国際紛争についてを学習し、難民問題について考察する。 ・これまで起きた核兵器が絡む国際問題について学習し、核兵器廃絶のためにどのような努力がなされてきたのだろうかということを考察する。 ・日本の外交と現在どのような領土問題があるのかについて学習する。 ・経済の基本的な仕組みについて学習する。 ・資本主義社会の特質とどのように変容してきたのかを学習し、問題点について考察する。 ・三つの経済主体の役割と企業の種類について学習する。 ・価格変動の仕組みと政府の役割について学習する。 			
10	④国際紛争と難民問題 ⑤軍備管理と軍縮 ⑥日本の外交と国際平和への役割				
11	第2編 現代の経済 第1章 現代経済のしくみと特質 ①経済社会の発展 ②経済主体と経済活動 ③市場経済の機能と限界 《3回定期試験》				
12	④経済成長と景気変動 ⑤物価の動き ⑥金融のしくみとはたらき				
1	⑦財政のしくみと働き ⑧日本経済の歩み				
副教材	『最新政治・経済資料集 新版』 第一学習社 『私たちが拓く日本の未来 有権者として求められる力を身に付けるために』 総務省・文部科学省				

2019年度 シラバス

教科	公民	科目	現代社会	学年	3
				コース	AB理系
	使用教科書		『現代社会』東京書籍	履修単位数	3
学習目標	<p>・人間の尊厳と科学的な探求の精神に基づき、広い視野に立って、現代社会と人間についての理解を深めます。</p> <p>・現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに自ら人間としてのあり方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる事を目標とします。</p>			評価の観点	<p>定期試験を軸に、授業への意欲的な参加や、関心の高さ、授業態度、社会に対する関心度などを、総合的に評価する。</p>
授業計画					
月	単元・教材	学習内容			
4	第2章 日本国憲法と民主政治 1. 民主政治とは ①民主政治の成立②基本的人権の確立③世界の政治体制 2. 日本国憲法の基本原理	第2章では、なぜ議会を通して意思決定を行う必要があったのか、なぜ、政治に参加するのかを学ぶ。 ・民主主義を実現するための民主政治の歴史と現在の特色について学ぶ。また、基本的人権がいかにして確立していったのか、現在はどうに保証されているのかを学ぶ。 ・現在の日本国憲法がどのように成立したのか、その歴史的背景を学ぶ。また、明治憲法と比較しながら現在の日本国憲法の特色を学ぶ。 ・国民の権利とは日本国憲法や法律でどのように保証されているのか、また新しく必要とされている権利とはどのようなものかを学ぶ。			
第1回定期試験					
5	③新しい人権と人権保障の広がり	・日本国憲法の柱の一つある平和主義の歴史的背景と意義を理解するとともに、自衛隊との関係について学ぶ。			
6	③新しい人権と人権保障の広がり	・冷戦終結によって安全保障の状況はいかに変化したか、それに日本はどのように対応してきたか学ぶ。			
7	④平和主義と安全保障(1)(2)	・国会が「国権の最高機関」と位置づけられているのかをその仕組みなどを踏まえ学ぶ。 ・日本の議院内閣制の特徴は何かを学んできます。また、行政を民主的に統制するためにどのような制度が必要か考察する。			
第2回定期試験					
7	3. 日本の政治機構 ①国会と立法②内閣と行政③裁判所と司法④地方自治	・公正な裁判を保障するために日本国憲法はどのような規定をおいているのかを学ぶ。 ・裁判員制度導入の狙い、導入後の問題点などを考察していく。 ・民主主義において地方自治はどのような意義を持っているのかを学ぶ。地方公共団体の首長と議会のあり方に学ぶ。			
9	4. 現代政治の特質と課題 ①選挙の仕組みと課題 ②政党と利益集団 ③世論と政治参加 第3章現代社会と法 1. 現代社会と法①法の働き②社会生活と法	・日本の選挙制度の問題点や制度がどのように政治に影響しているのか学ぶ。 ・有権者にとって政党の意義とは何かを考察する。 ・メディア特徴を踏まえ、それぞれの情報にどのように接すべきかを考察する。 ・なぜ、基本的人権の保障や法の支配の実現が大切なのか学ぶ。また、家族生活の中で法はどのように関わっているのか、具体例を挙げながら考える。 ・国家が刑罰を行う理由を考察する。			
10	第4章現代の経済と国民福祉	・個人や企業がどのような目的で経済活動を行っているのか、また、経済活動に対してどのような責任があるのかを学ぶ。			
11	1. 経済の仕組み	・企業が利潤を増やすために、どのような活動をしているのか考察する。			
第3回定期試験					
11	2. 変化する日本経済	中央銀行や金利などについて学ぶ。			
11	3. 豊かな生活の実現	・高度経済成長から石油危機、バブル経済などをどのような条件のもとで起こったのか、歴史的背景を踏まえ考察する。			
11	3. 豊かな生活の実現	・日本が国際社会において、果たすべき役割について学ぶ。			
12	第5章国際社会と人類の課題	・国際法と国内法の相違を考察する。 ・国際連合は平和のためにどのような活動をしているのか、また、どのような課題を抱えているのかを			
12	1. 国際政治の仕組みと動向	・冷戦終結によって安全保障の状況はいかに変化したか、それに日本はどのように対応してきたか学ぶ。			
12	2. 国際経済の仕組みと動向	・第二次世界大戦後の軍備をなくす努力の経緯について学ぶ。			
1	3. 国際社会の現状と課題	・日本の貿易構造はどのように変化したのか考察する。 ・近年のサミットでは、何が中心的な課題か、考察する。			
副教材	『新版 最新現代社会資料集2019』第一学習社				